

豊葉の杜学園 落成式

4月26日、待ちに待った校庭が完成し豊葉の杜学園で落成式が催されました。式の間静かな子ども達の態度に感心しました。

橋本校長は式辞で「感謝の気持ちを持ってほしい。4年生以下の児童はルールを守り自分から進んで勉強・運動・遊びをし、自分の力を大きく伸ばしてほしい。5年生以上は、学習意欲・挑戦する意欲・折れない心をしつかりと持って、勉強も部活も本気で頑張るその姿で感謝の気持ちを表してほしい。」と、濱野区長は挨拶で「生徒がしっかりと勉強して初めてこの校舎を作った意味がある。学校を隅から隅まで使って元気づく育つてほしい。」と話されました。

私は帰り際、大階段の上から周りを見て90年前の様子を想像しました。

荏原郡平塚村大字下蛇窪の田畑だった学園の場所には、大正の中頃に商工会議所会頭の藤田邸が建てられ、通りの両側に桜が植えられて桜のトンネルと呼ばれ、品川用水も昭和30年代まで流れていました。旧大間窪小は藤田グラウンドと言われ、相撲場やテニスコートがありました。旧荏原三中には和館があり、10畳の7部屋。今度完成の校庭は枯山水の庭園の一部で、築山、雪見灯籠などの石灯籠、巨石、四阿あずまやがありました。今その石灯籠は地域センターの駐輪場、やすまいるスクールの道路際に移されています。



東老連創立50周年記念で表彰を受けて

新生豊三いこいクラブ 会長 大畑良治

2月28日、練馬文化センターに於いて、第27回東京都老人クラブ大会が行われ、当クラブは長年の活動に対して表彰を受けました。手探りで始めた会なので、役員一同夢中で行動を開始しました。

①街路樹・「ほうさん広場」の手入れ②一泊旅行③バスハイク④各種講演会・講習会⑤体操教室⑥区主催の会への参加⑦手芸・カラオケの会⑦総会では、会員皆でお弁当を食べながら語り、歌に踊りに福引等で楽しく一日を過ごします。会員も54名と小さいのでまとまりもよく、各人「…ちゃん」と名前呼び合っています。

この表彰を受けて大変光栄で、これから会をさらに発展させたいと思います。

二葉2丁目長寿会 会長 中村富美子

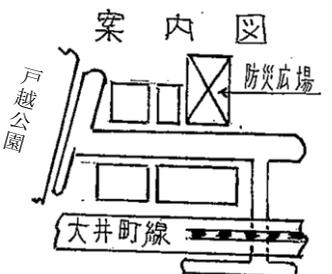
このたび、二葉2丁目長寿会は、50周年をむかえました。同じ年に、「東京都老人クラブ50周年記念大会」の式典に於いて、表彰されましたので、会員一同この上なき喜びでした。「健康・友愛・奉仕活動」を合言葉に身近なことから一歩一歩進んで行きたいと思っております。



先代から続いてきた先輩の皆様のおかげで長寿会が発展してきた事に感謝し、今後地域域の皆様が、気軽に入会して下さる様に、明るい笑顔の集まる会になる様に、努力していきます。

サンサン防災広場完成 (豊町2・5・16) 豊町二丁目親和会

天候にも恵まれた4月19日開園式が行われました。濱野区長より「南向きでお日さまが燦々さんさんと降り注ぎ子ども達にも覚えやすいので命名した」との挨拶があり、上田会長に鍵が引き渡され、会長は「紆余曲折がありました。皆様のおかげで開園できました。少々手狭ではあるが知恵と工夫で活用していきたいと思えます。」と熱く胸中を語りました。炊き出しが参加者にふるまわれ、この広場が災害時に住民の心の拠り所となれば幸いです。



東京消防庁災害時支援ボランティア

東京消防庁では、平成5年から防災ボランティアの育成政策を検討し、平成6年「災害時支援ボランティア」の試験的運用を開始しました。平成7年1月には阪

神・淡路大震災が発生し、全国から駆けつけたボランティアの活躍が連日報道され、災害時のボランティア活動に関する認識が高まりを見せてきました。『災害時においては消防機関が対応できる力は限られて、消防活動を支援するボランティアの導入を図る必要がある』とのことから、平成7年7月、全署一斉に「東京消防庁災害時支援ボランティア」が発足しました。荏原管内にも多くのボランティアが日々、訓練や行事等を実施しています。(登録番号164 小林)

「募集」原則として消防署管轄区域内に居住している方、又は勤務もしくは通学している方で15歳以上(中学生は除く)であり、災害時などに消防に対する支援活動を行う意志のある方です。まずは普通救命講習を学びましょう。詳細は消防署まで

ボランティア担当 坂本、大山、小西

速報

103号(平成21年11月15日発行)で取材した富岡製糸場がいに世界文化遺産に登録されることが確実となりました。

地区行事のお知らせ

まつり地区まつり大会 (旧荏原第四中学校)
7月20日(日)・21日(月)

ラジオ体操 (27日(日)は除く)
7月22日(火)~31日(木)
(町会指定の会場)

祭納涼祭 (土)・3日(日)
8月2日(土) (西大井広場公園)

びりびり

本紙の第24号(平成2年3月発行)で補助26号線道路のうち大崎高校から品川区役所入口までの区間工事概要を紹介した。完成予定は平成8年であった。

道路工事状況、一般住宅や工場の解体、旧タコ公園の親ダコが解体された後、現在地に新しく組立ての工事など取材撮影を行ってきた。現在、平成26年で当初の完成予定年から18年が過ぎた。難関であった住吉踏切下のトンネル工事が進行中。道路完成が間近に見えてきた。

塚本